

故事成語 1

故事成語の意味がわかる

月 日
名 前

■ 次の故事成語とその意味を、それぞれ——でむすびましよう。
故事成語とは、主に昔の中国の話(故事)をもとにしてできた言葉のことです。

(1) 矛盾

どんなものでもつき通せるという矛と、どんなものでもつき通せないという盾を売っていた商人に、ある人が「あなたが売っている矛で、あなたが売っている盾をついたらどうなるのか」とたずねたところ、商人は答えることができなかったという話からできた言葉。

つじつまが合わないこと。

(2) 五十歩百歩

戦いどきに、敵から五十歩逃げた人が百歩逃げた人を笑ったが、どちらも逃げたことには変わりはないという話からできた言葉。

苦労して勉強をした成果。

(3) 螢雪の功

貧しくて灯油が買えず、雪の明かりや螢の光で勉強し、やがて出世した人物の話からできた言葉。

どちらも大きなちがいはないこと。

(4) 丘巻

役人になる試験のときに、最も優秀な人の答案を、ほかの人の答案のいちばん上に置いたという話からできた言葉。

激しくおこること。

(5) 怒髪天をつく

大國の王に無礼なふるまいをされた小國の使者が、かみの毛がさがさかだつて、頭にかぶったかんむりをつくほどさすまじくおこつたという話からできた言葉。

たいへん苦しく悲しいこと。

(6) 背水の陣

戦いのとき、あえて、後ろに下がれば川に落ちてしまつたような場所へ必死に戦つたという話からできた言葉。

ほかと比べて、特にすぐれていること。

(7) 断腸

ある母ザルが、人間に子どもをつかまえられた悲しみで死んでしまった。その母ザルのおなかの中を見ると、腸がずたずたにちぎれていたという話からできた言葉。

一歩もあとにひけない状態で、全力で取り組むこと。

